

登録団体紹介

NPO 法人高槻まごころ

「高槻まごころ」は、
**自分自身で老後のトータルコーディネーターを
 考える** 会です。
 会を設立してはや 15 年が過ぎようとしています。
 主婦数人で在宅有償サービスを出発させて、平成 9 年 10
 月には、自宅を開放しサロンを開設。
 その後、NPO 法人の認証、介護保険(居宅・訪問介護・
 通所介護・福祉用具貸与)の参入、高槻市の街かどデイハ
 ウス事業委託と、さまざまな時代の流れに呑み込まれな
 がらも、あたたかい心ある仲間により、ここまで育てても
 らいました。

高齢化社会の中で、“地域”と“時代”をキーワード
 に、多世代が互いに心をかけ合いながら、精神面と生活
 面を含む課題を、啓発及び在宅
 介護をはじめ、柔軟で幅広い支
 援事業を行うことで、高齢者自
 身が安心して暮らせるまちをつ
 かっていくことをめざして活動し
 ています。



連絡先 高槻まごころセンター事務所 690-6198

認知症介護者を悩ませる課題

- ・いつまでという期限がない
- ・365日24時間、目が離せず、休日や休憩がとれない
- ・物忘れが激しくなり、治る見通しもなく、希望が持てない
- ・夜間・深夜に騒いだり徘徊するので不安で自信がない
- ・常識が通じない

認知症介護の大変さは、直面して初めてわかるものであり、介護する家族には、戸惑いや混乱、介護疲れが出ます。疲れを溜めないためには、絶対一人で悩まないことが大切です。

「家族の会」は、同じ思いをしている人が自分たちの他にもいると知ることで、介護の疲れを癒す場所にもなっています。先輩たちや仲間の介護経験を聞く中で、介護を上手にするコツ、悩みの解消法、医師の紹介、施設の良し悪しなど、具体的な知識・情報も得られます。毎月下記の日程で実施していますので、関心のある方は、ぜひご参加ください。

日時 毎月第3火曜日 13:00~15:00
 会場 光愛病院3階会議室(市内奈佐原)
 お茶代として100円
 お問い合わせは 山本泰代 689-2512



NPO 法人アジア子供支援フジワーク基金

今年の12月25日をもって法人設立から5年が経ちます。
 現在4つの児童養護施設の子どもたちや、同じアジア地域であるインド、ネパールの子どもたちのために、社会で活かされる人材として成長ができるように支援活動を続けております。



インド・掘った井戸を利用する村人たち

最近の活動報告としましては、夏休みに子どもゆめ基金の助成活動として2泊3日のキャンプを行ったり、インドのゴンガリアという地域にきれいな水を贈るために井戸掘りプロジェクトをスタートさせております。今企画しているのは「世界一?大きなヘーパークラフトタウン」を、施設の子どもたちと協力して作るというものです。完成品は平成21年2月22日(日)から2日間、高槻総合市民交流センターギャラリーで展示を予定しておりますので、お楽しみに!!
 クラフトタウン作りにご興味のある方は、こちらまで。
 連絡先: 686-5751(事務局: 鉄本・柏本)

編集後記

この夏35度に馴らされて、30度にホッとする日々なんてやはり「異常」でした。大阪は緑が少なく日本一暑いと言います。地球温暖化をすすめている人類に対して、植物の果たしてくれる役割に感謝。今年は高槻市も「緑のカーテン大作戦」の取り組みがありましたが、皆さんの夏はいかがでしたか。でも今はすっかり秋。事務所も、フリマにフェスタ・各種講座の企画にと、仕事に追いかけています。 衣川

高槻市市民公益活動サポートセンターニュース

発行 2008(平成20)年10月15日
 高槻市市民公益活動サポートセンター
 住所 〒569-0056 高槻市城南町3-1-1
 西大冠小学校内
 電話 072-674-3400
 Fax 072-674-3401

e-mail:koueki-suport1504@aurora.ocn.ne.jp

http://www.takatsuki_kouekisuport.com/

日時 11月29日(土)
 10:45 ~ 15:30

第一会場
 生涯学習センター展示ホール
 第二会場
 市役所周辺(総合センター東側)

協働事業事例発表と パネルディスカッション 「市民協働」ってどんなこと?

これまでの「協働活性化モデル事業」で行政と協働で地域課題に取り組んだ団体と行政の発表。そのあとレクチャーを含めてディスカッションを行い、市民協働への理解を深めます。

第4回たかつき
NPO協働が
フェスタ

フリーマーケット

今回は、屋外でフリーマーケットを開催します。参画団体の成果物やリサイクル品で楽しいお店が並びます。(この催しは雨天中止)



去年のフェスタ

子ども向けのイベントもたくさん企画中国！
 知り合いにも声をかけて、ごいっしょに参加してください。

サポートセンターの機能拡充をめざして

・・・プロジェクトチームを立ち上げ、各種の方策を検討中・・・

現在サポートセンターは、西大冠小学校の余裕教室を2つ借りて運営しています。会議室などゆったりと使うことができますが、学校なので常時施錠が必要なことや、市の中心から少し外れていることなどから、「気軽に立ち寄りにくい」、「チラシをおいても見てくれる人が少ない」など、もう少し中心部に活動拠点がほしいという声がありました。

今回、サポートセンターの機能拡充のために、管理運営委員会では、常任委員を中心に「プロジェクトチーム」を立ち上げ、情報発信や市民などの利用、市民協働の推進など、より効果的な拡充策を、来年度からの実現をめざし行政も含めて検討しています。

目次

- 1 面 フェスタ、機能拡充へPTで検討中
- 2~3面 活動報告、市民公益活動の現場から「子どもたちの野外活動・自然体験活動を支える」
- 4 面 登録団体紹介

街っ子たちに自然体験を

山あり、川あり、田畑あり。豊かな自然に恵まれた高槻市ですが、そこで生活する子どもたちの大半は、いわゆる都会暮らし。戸外で仲間と過ごしたり、自然と親しんだりする機会が少なくなり、テレビゲームや携帯ゲーム機での遊びが中心になっている子どもたちも、多くなっています。

そうした中、サポートセンターの登録団体の中には、子どもたちを対象に、野外活動や自然体験活動を主催・支援している団体があります。地域に根ざし、地元に着目した活動を、ご紹介します。

野外活動の楽しさを、子どもたちとわかちあう

NPO法人総合レクリエーション工房チャイルドハートは、高槻市において青少年の野外活動やレクリエーション活動にかかわってきた「グループサークル会」(1)の元メンバーを中心に、キャンプと青少年の交流事業を主催することを主な目的として設立された団体です。2001年に任意団体として活動を開始しました。

毎年数回、高槻市近郊で一泊二日の小学生キャンプを実施、炊さん・キャンプファイヤー・ネイチャーゲーム・クラフト・パン作りやうどん作りなどなど。キャンプの定番行事と多彩なレクリエーションで、思い切り楽しめます。

摂津峡などのキャンプ場でのテント

泊の他、神社やお寺、公民館に泊ることもあります。テントも大自然もなくとも、仲間と過ごす喜びがある。子どもたちが、自然の中で遊びながら、自主性、協力性、協調性を育てることを、目指しています。

一方、瀬戸内海や伊勢湾の無人島などでの「だいなまいとキャンプ」は、約一週間のサバイバルキャンプ。「グループサークル会」時代から数えて、2007年で16回目を迎えました。残



手作りの筏で海へ (だいなまいとキャンプ)

念ながら2008年度は実現しませんでした。長期のキャンプに対応できるスタッフ確保の困難に直面しています。
(1)レクリエーションリーダー協会やキャンプカウンセラー協会などにより構成・現在は解散)

自然の中で遊ぶ知恵と技術を子どもたちに

環境教育の研究では、幼少期の自然体験は将来の環境に対する行動に大きく影響するといわれています。

高槻市北部で、高齢者のための福祉施設を運営しているNPO法人たかつきが、2001年の法人設立以来、子どもたちへの環境教育の一環として続けているのが、たかつき子ども自然体験学校です。

施設のある高槻市の奈佐原・阿武

山を拠点に、里山遊びや畑での体験を通して、地域の自然環境や生き物の生命の尊厳について学ぶ、通年プログラムです。月一回開催、幼稚園の年長から小学校低学年の子どもたちが、山歩きや川遊び、虫捕りや山菜・木の実などの採集、昆虫標本作りやクラフト、農作物の植付けや収穫、調理などを経験します。

一方、自然体験学校から3年遅れで開始の里山わんぱく冒険隊は、自然の中で、子どもたちが自主的に考えて行動することをねらいとするプログラム。自然体験学校で1~2年、自然の中で遊ぶことに慣れてきた子どもたちを中心に、小学校の中・高学年の子どもたちが集っています。

山と野原と畑をフィールドに、「何をするか」決めるのは子どもたち。指導員の大人は、それを見守りサポートします。



大根を収穫 (たかつき子ども自然体験学校)

親の世代も自然体験が少なく、子どもたちに自然の中で過ごす技術や知恵を伝えることができない今、このような活動が必要とされていると考えています。

『たかつき』をわくわく発見!

2007年度から始まった、たかつきわくわく探検隊は、NPO法人アダージョによる、たかつき・自然発見企画です。

コミュニケーションや仲間作りが苦手な子どもが多くなっている今こそ、子どもたちが仲間と一緒に、自然の中で子どもらしく、ゆったり楽しく過ごせる機会を作りたい。ならばと、高槻の豊かな自然を再発見しながら、地域の人と触れあい、地元の食材を楽しむことをコンセプトに、2007年度は、小学校の中・高学年を対象に、1泊2日のキャンプ1回を含む年間計12回のイベントを企画。

櫻田地区、原地区、摂津峡、芥川、三島江地区などで、様々な分野の専門家や、地域の人々の協力を得ながら、田植えの見学、しいたけの種付け、芥川の源流探検、もぎたて野菜でバーベキュー、マスつかみ、投網体験、田んぼでドッジボール、そば打ちに座禅、餅つき、凧揚げ、などなど、工夫をこらした体験活動を行ってきました。

2008年度は更に、高槻市農業協同

組合や原地区連合自治会などとの協働で「高槻とかいなか教育ファーム推進協議会」を発足、原地区を拠点に、米・そば・野菜などの植付けや収穫を体験できる「高槻わくわくファーム2008」を主催、アダージョは事務局として運営にあたっています。

参加者も、2007年度はイベントごとに募集していましたが、2008年度は、年間パスを発行することで、通年プログラムとなり、子ども同士の仲間づくりも進んできました。



稲刈りの指導を受ける子どもたち (原地区で)

*詳しくは、各団体のHPをご覧ください。下記までお問合せ下さい。

NPO法人
総合レクリエーション工房チャイルドハート
mla71481@nifty.com
NPO法人 たかつき
072-689-9112
NPO法人 アダージョ
hot-kun@k7.dion.ne.jp

開催します

「教育」と「子育て」NPOと行政 協働のためのテーマ別交流会 が開催されます

2007年度から始まったNPOと行政 協働のためのテーマ別交流会。NPOが日常の活動を進めている中で、実感される課題を具体的に提起し、市職員とともに課題を共有することにより、相互理解と信頼関係を強め、協働促進の環境を作ろうとするものです。

昨年度は、「子育て・教育」をテーマに交流会を持ちましたが、具体的な課題の抽出に至りませんでした。今回は、テーマを分けて、「教育」を10月27日(月)午後6時から、「子育て」を10月31日(金)午後6時からそれぞれ開催します。

当日は、2グループに分かれ、テーマに関してNPO側から出された資料を基に活動概要や課題を提起し、市職員が提起された課題についての考えや施策について応え、議論を深め、NPOと行政との共有できる課題を抽出することになっています。(参加の受け付けは終了しています)



取組み中

高槻市 市民協働のまちづくり事業 が具体化されました

夏号でお知らせしましたように、選定候補となっていました「認知症ケアのネットワークづくり」事業(提案団体:認知症を理解し、地域で支える会)と、「一時預かり保育と子育てに関わる生活支援」事業(提案団体:NPO法人SEAN)の2事業が、採択決定されました。それぞれ、「認知症予防等に関するシンポジウム」、「子育て支援者研修会」を来年2月に開催の予定です。中間支援機関としてサポートセンターも加わり、事業の進捗状況や課題を共有し対応策などを話し合うための「進捗会議」を開催するなど、準備を進めています。具体的な事業内容は、次号でお知らせします。

開催しました

富田地域で まちづくり塾

7月の阿武野地域に引き続き、9月にも富田地域で、「高槻まちづくり塾」を開催。平成20年度の高槻まちづくりは、市内各地域で活動しているNPOの紹介とNPO活動への参加のきっかけにしたい。こうとするものです。講座の前後に実施したアンケート調査結果に見られる参加者の意識の変化や、事例紹介されたNPOへの参加問い合わせが数件あったことより、一定の成果があったことがうかがえました。

リニューアル★

ホームページ が

新しくなりました

サポートセンターのホームページが、9月に全面改装しました。登録団体情報や団体のイベントのお知らせなどが、とても見やすくなりました。また、1面には、写真入りで登録団体の活動を紹介する「登録団体紹介コーナー」を新設。皆様からの掲載依頼をお待ちしています。ぜひ、一度のぞいてみてください。

講座のご案内

サポートセンター主催・団体支援のための講座 が始まります.....

助成金講座 : 11月13日(木) 18:00~20:00 (『ライオンズクラブ高槻基金』説明)

会計相談会 : 12月2日・9日・11日 17:30~18:30 18:40~19:40

チラシ作成講座 : 2009年 1月16日(金) 18:30~20:30, 1月24日(土) 14:00~16:00

* 会場はいずれもグリーンプラザ3号館105号室です。

* 各講座の詳細については、サポートセンターまでお問合せください。(Tel 072-674-3400)





イベント・日常活動紹介

2008.10.16 ~ 2009.1.15

サポートセンターの登録団体が行なう、イベントや日常活動を紹介します。
掲載依頼は毎回発行予定日の5日前が締め切りです。ご希望の方はお問合せください

高槻市市民公益活動サポートセンター・ニュースレター係 674-3400

作りませんか

高槻アマチュア無線クラブ

手廻し発電機付きラジオ製作会

電池が無くてもラジオを聴く事が出来る。そんなエコラジオ(テクノキット社 HR-040)と一緒に作りませんか。内蔵の発電機を手廻しで廻して、電気を溜めた分だけ AM・FM ラジオが鳴ります。ハンダ付け作業もあり、小学校高学年の方なら、およそ2時間で完成します。スタッフが鳴るまで指導をします。

日時 11月8日(土)・9日(日)

10時~14時まで現地で受付します

場所 市役所北隣の総合センター1階展示ホール

費用 1台1500円

費用の一部を、高槻クラブで負担します

*両日とも10台限定

主催 高槻アマチュア無線クラブ

連絡先 ja3wdl@jarl.com 井村まで



教会でクリスマスを

三島子ども文化ステーション

教会で聴くクリスマスコンサート

小さな子どもたちのためのクリスマスコンサートを今年は、教会で開くことになりました。教会の静かな雰囲気とクリスマスのワクワクする楽しさを味わいませんか。



日時 12月14日(日)14時から

会場 高槻バプテスト教会(氷室町)

出演 アンサンブルネオナート

Ksquare(演奏)

参加費 大人 1200円、子ども 800円

ペア券 1800円

*60組限定です。お早めにお申し込みください。

助成金情報

(その2)
裏面にも情報あります

詳しくは、必ず募集要項にてご確認ください。募集要項・申請書は、各助成元団体のホームページよりダウンロードできます。

近畿ろうきんNPOアワード

<ろうきん>融資の利用が地域貢献につながる仕組みを目指して、「子育て支援活動」を進めるNPO団体やボランティア団体に助成します。

対象となる事業： 子どもの成長を応援する事業 子育て環境を整える事業

2009年4月1日~2010年3月31日に日本国内で実施する新規プログラム(前年度からの継続事業でも可)

対象となる団体：近畿2府4県に主たる事務所を置く、非営利の市民活動団体

助成額：大賞50万円×1団体、優秀賞30万円×2団体、奨励賞20万円×7団体(団体数は予定)

(助成総額は、教育ローンキャンペーン期間中における教育ローン新規融資額の0.05%で250万円以内)

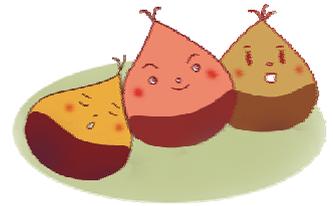
募集期間：2009年1月5日~2月27日

問合せ先：近畿労働金庫地域共生推進室 ホームページ <http://www.rokin.or.jp/>

TEL (2008年12月5日まで... 06-6942-1908) (2008年12月8日より...06-6449-0842)

助 成 金 情 報

(その1)
裏面にも情報あります



助成金情報の一部をご紹介します。詳しくは、必ず募集要項にてご確認ください。募集要項・申請書は、各助成元団体のホームページよりダウンロードできます。

大阪コミュニティ財団 / 2009年度助成 の募集が始まりました

大阪コミュニティ財団は、一般市民や企業・団体からの「お志」のこもったご寄付を、名前を付けた基金の形でお受けし、その「お志」を最大限尊重しつつ、地域社会の多様なニーズに対応した社会貢献活動を支援する財団です。

《一般基金による助成》	<p>助成先や助成分野が財団に一任されている基金です。</p> <p>2009年度はつぎの3分野に助成します。</p> <p>青少年の人材育成・健全育成活動</p> <p>地域社会の活性化・安全確保の活動</p> <p>青多文化共生をめざす活動</p> <p>・助成総額 200 万円。</p> <p>原則として1件あたりの助成金は50万円以下となります。</p>
《分野指定基金による助成》	<p>寄付者より、助成先の分野が指定されている基金です。</p> <p>例として、下記のような基金があります。</p> <p>【商業界女性ゼミナール基金】(女性企業家(起業家)を育成する事業・40万円まで)、</p> <p>【Panasonic ハートフルメセナ基金】(障害者の芸術文化活動の支援・100万円まで)、</p> <p>【アジア奨学基金】(アジアからの留学生を支援・10万円まで)、</p> <p>【NTT 自然環境保護基金】(自然環境の保護・10万円まで)、</p> <p>【義行、登志子親子基金】(恵まれない子ども達の支援・100万円まで)、等々。</p> <p>その他多数、募集しています。詳しくは、財団のHPでご確認ください。</p>
《関与基金による助成》	<p>寄付者が、助成先について財団に希望を述べることのできる基金です。例として、下記のような基金があります。</p> <p>【東洋ゴムグループ環境保護基金】(環境の保護・保全に関する活動・原則100万円まで)、</p> <p>【大阪厚生信用金庫福祉基金】(大阪の豊かな街づくりを支援・10万円まで)、</p> <p>【緒方弘文・信子基金】(国内外の教育振興、教育環境の整備・30万円まで)、</p> <p>【西日本SHDパートナーズ倶楽部 地域活性化支援基金(関西地域会)】(人々の交流を推進する活動、自然と人間が共生する活動、障害を持つ方々が社会参加するための活動等、地域を活性化し元気にするさまざまな活動・原則100万円まで)等々。</p> <p>その他、数件募集しています。詳しくは、財団のHPでご確認ください。</p>

助成対象となる団体・事業：1年以上の活動実績を有する非営利団体(法人格は問わない)が、2009年4月1日から2010年3月31日までの間に実施を予定している公益に資する事業。

対象地域：地域指定等の記述がない限り、主として大阪府およびその周辺地域であり、日本全国・海外も対象になります。

助成金額は、限度額に関わらず、申請する事業の全所要額の1/2以下です。

締切り：2008年11月30日

申込み・問合せ先：財団法人大阪コミュニティ財団 TEL 06-6944-6260

ホームページ <http://www.osaka-community.or.jp>